

一般的に 研究計画調書等の作成に当たって 「優れている」と評価されるために

- ・ 研究課題の重要性・妥当性・波及効果・普遍性
- ・ 研究計画・方法の妥当性（適切性・明確性）
- ・ 研究内容の独創性、革新性、先駆性 or 萌芽性
（対象・手法・研究成果等）
- ・ 研究組織・体制の合理性、役割分担の明確化、準備状況
- ・ 構成員の業績（論文等）
- ・ 研究経費の妥当性（費用対効果）
- ・ 当該分野及び関連分野への貢献度、波及効果
- ・ 研究費目及び審査区分としての適切性
- ・ 文字の見やすさ、文章の推敲、図表・チャート化 等

先行例と審査体制・方法の調査分析が重要
経験者にポイントやノウハウをお聞きする

（日本学術振興会資料等を参考に作成）